

2020年10月
公益社団法人 日本コンクリート工学会

コンクリート技士・主任技士の皆様へ

2021年度からコンクリート技士・主任技士研修は
eラーニング形式へ移行いたします

既にご承知の通り、コンクリート技士・主任技士は、コンクリート技士制度規則に基づき、4年ごとの研修受講と登録更新が必要な資格制度です。

従来、コンクリート技士・主任技士研修は、毎年全国24都市38会場において12,000名を超える方々に対面形式で受講いただいておりますが、2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、予定されていた対面形式の研修は中止とし、受講者の皆様には別途配布した資料による自己学習で研修の代替をお願いすることとなりました。

一方、近年のパソコン、タブレット端末、スマートフォンなどの情報通信機器、およびそれらを利用するためのインターネット環境の整備は目覚ましいものがあります。コンクリート分野に限らず、各種の研修や講演会がオンライン形式で実施されており、本学会でもその活用について検討を重ねてまいりました。

本学会では、2021年度からコンクリート技士・主任技士研修を従来の対面形式からeラーニング形式の研修に移行することといたしましたのでお知らせいたします。

eラーニング形式とすることで、これまで遠隔地から受講されていた方々の負担が軽減され、時間や場所を選ばず受講していただくことが可能となります。さらにご自分のペースや達成度に応じて自由に学習でき、復習も可能となります。本学会でも2020年度からコンクリート診断士講習会をeラーニング形式で実施し、その実績からeラーニング形式の研修は受講者の皆様にとって大きなメリットになると確信しておりますので、どうかご理解いただきますようお願い申し上げます。

eラーニング形式による研修受講方法の詳細につきましては、2021年度研修対象の皆様へ追ってご案内させていただきますので、しばらくの間お待ちください。

以上